



一般社団法人

日本シングルマザー支援協会®

2020年 5月 10日

日本シングルマザー支援協会研究所

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言に伴う 支援に関するシングルマザーアンケート調査

一般社団法人日本シングルマザー支援協会（代表 江成道子・以下、当協会）は、【お金を稼ぐ力】【共感しあえるコミュニティ】【再婚という幸せ】の3つの柱を実現し、女性が子どもを育てながらも働きやすい社会を目指して活動しています。

現在、新型コロナウイルスにより、社会活動において様々な制限が必要とされています。

その結果、日々の生活に苦慮している方も多く、実際に支援策が施行されることになりました。

今回は、行政支援を受けることが多いシングルマザー達が、年齢や雇用形態の違いにより、緊急事態宣言に伴う支援に対する捉え方や必要とする支援の違いを知るため、「緊急事態宣言に伴う支援に関するアンケート調査」（以下、本調査）を行いましたので、報告します。

【 内容 】

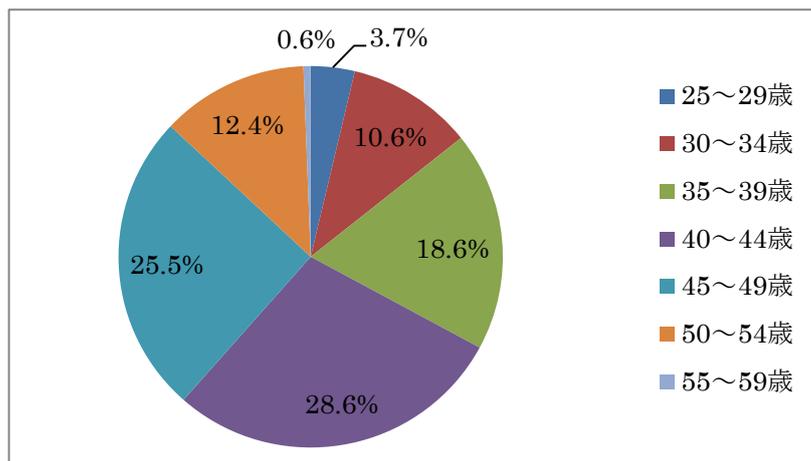
- I. シングルマザーの現在の雇用形態と、収入および子どもの年齢との関係
- II. 現時点での困り事と雇用形態との関係
- III. 現時点での不安なことと雇用形態の関係
- IV. 現時点で必要としている支援と雇用形態の関係
- V. コロナ騒動収束後のシングルマザーが考える展望とは

問い合わせ	一般社団法人 日本シングルマザー支援協会
	江成・山木・鈴木・三輪
	HP : http://シングルマザー協会.com
	E-mail : info@singlemother-support.co.jp

【 調 査 の 概 要 】

- (1) 調査名 : 「緊急事態宣言に伴う支援について」
- (2) 調査対象 : 当協会に会員登録をしているシングルマザー
- (3) 調査方法 : WEB アンケート調査 (株式会社マイクロマル・クエスタント使用)
- (4) 調査時期 : 2020年4月14日～30日
- (5) 回収数 : 161人
- (6) サンプルの属性 : 32都道府県に居住している会員が回答

25～29歳	6
30～34歳	17
35～39歳	30
40～44歳	46
45～49歳	41
50～54歳	20
55～59歳	1
計	161



(7) サンプル数について

この調査では、上記の属性サンプルを集計・分析することを目的としています。そのため、当資料では人口比などによる補正は行っていません。

I. 現在の雇用形態と、収入および母親と子どもの年齢との関係

1. 現在の収入金額が 200 万円以下のシングルマザーは、55%を占めた。
2. 正規雇用（正社員）として働くシングルマザーは、35 歳から 45 歳までが多かった。
3. 子どもの年齢は、小学生にあたる 7~12 歳が多く、その母親の年齢は 40 歳~44 歳が多かった。

本調査では、現在の収入金額が年収 200 万円以下のシングルマザーは 55%であった。平成 29 年度国民平均所得の 551 万円と比較してみても、国民平均所得の 36%の所得しかないことがわかる。

シングルマザーの収入金額を考える際に課題となるのは、正社員雇用の収入金額だけをみても、中央値が 282 万円にしかならないことである。つまり、シングルマザーは安定した収入があるといわれる正社員の立場を得ても、国民平均所得の 51%にとどまることがわかった。

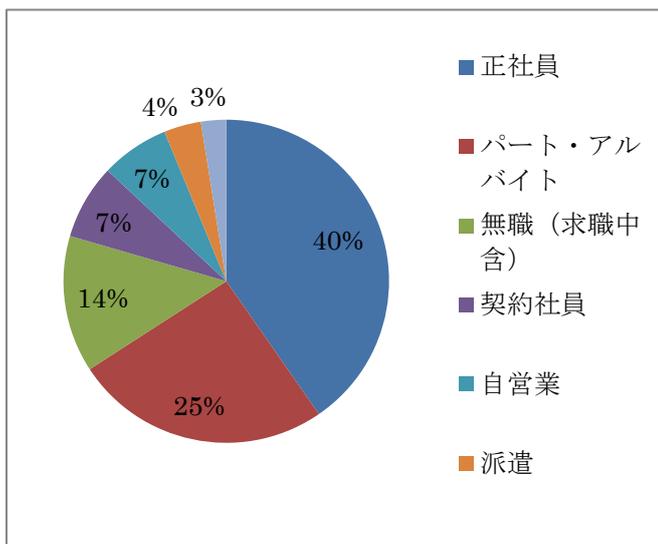
その原因のひとつとして考えられるのは、正社員雇用で働きはじめる年齢の高さであり、本調査でも現在の就業形態で正社員と回答しているシングルマザーが、30 代後半から 40 代が最も多かった。

また、シングルマザーが正社員を目指すのは、教育費が必要となる 16 歳を過ぎたころからとなり、それが 30 代後半以降というのが推察される。高齢出産の比率も高くなり、より女性の社会復帰の道は険しくなっている。

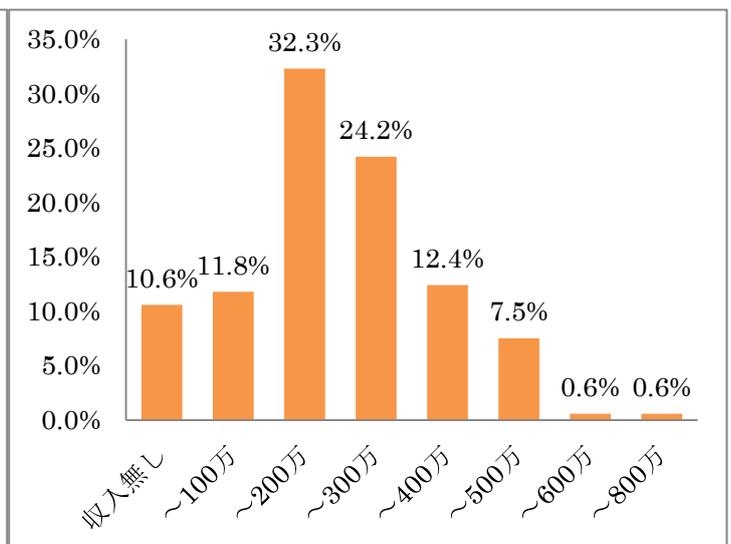
シングルマザーが希望する雇用形態が社員へとシフトする傾向は見えるが、有効求人倍率をみても、45 歳以上は 1 以下となっており、生活の安定へと繋がる正社員雇用には結びついていないことも伺える。

これらのことから、離婚の有無に関係なく、女性が子育てをしながらも早めにキャリアを構築すること、または独身時代からのキャリアを止めないことが、ひとり親ないし、未婚女性、高齢女性の貧困率を下げるには効果的である、と考えられた。

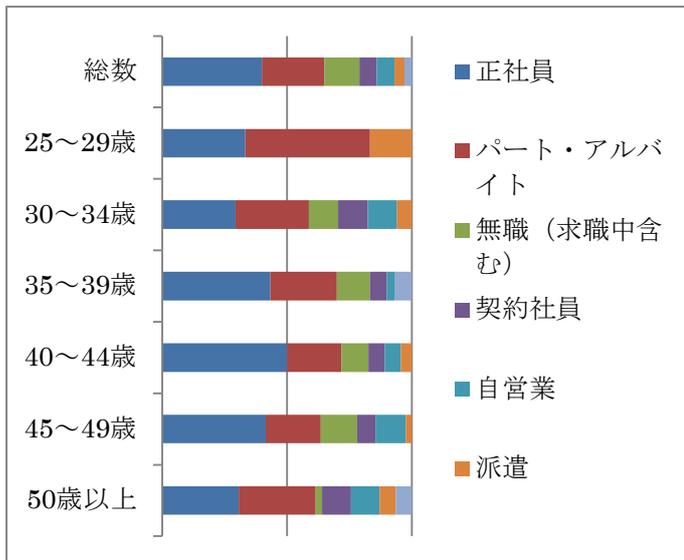
【 全体の就業形態 】



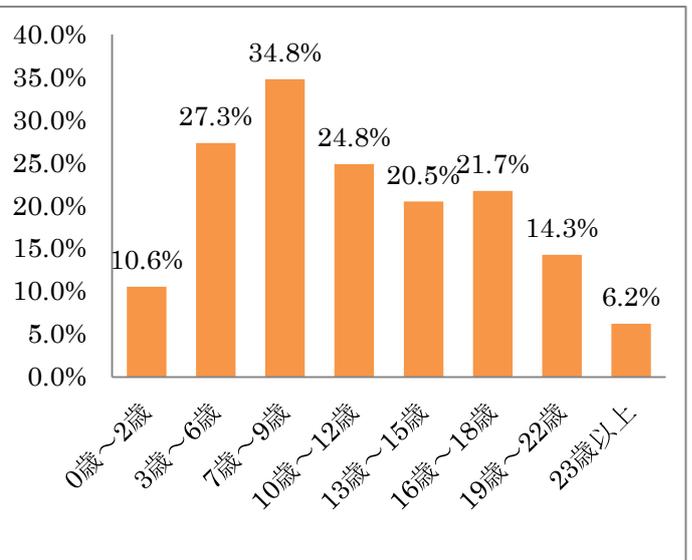
【 現在の収入額別の割合 】



【 就業形態・年齢別比 】



【 子どもの年齢別割合 (複数回答) 】



【 母親の年齢と子どもの年齢別実数 (複数回答) (単位:人) 】

母親の年齢	0～6歳	7歳～12歳	13歳～15歳	16歳～18歳	19歳以上
25～29歳	5	2			1
30～34歳	42	7			
35～39歳	15	23	4	2	
40～44歳	18	40	13	7	1
45～49歳	7	12	13	15	15
50歳以上		6	3	11	16

II. 現時点での困り事と雇用形態との関係

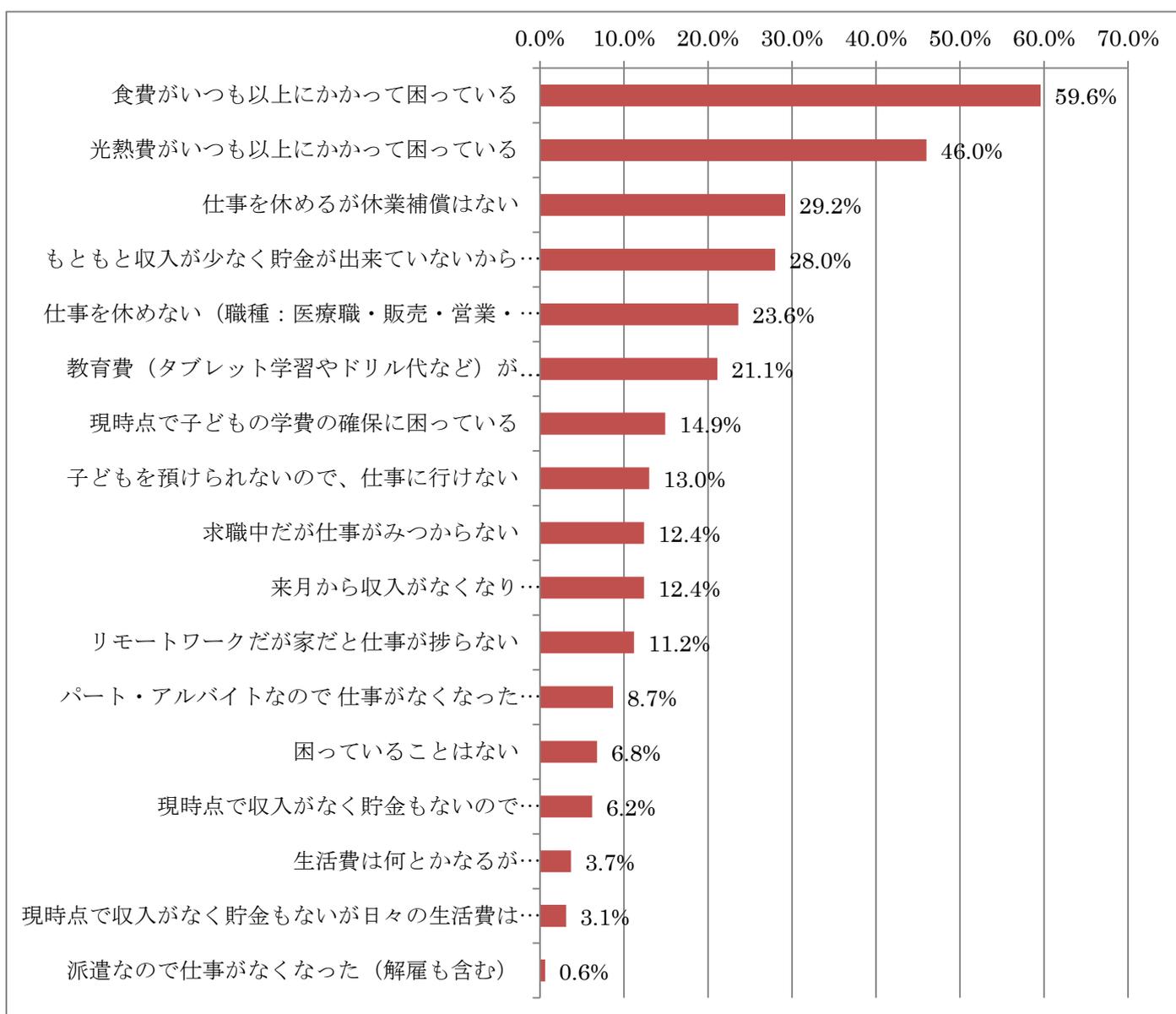
1. 雇用形態に関わらず、食費と光熱費がいつもよりもかかっていることが上位にあがっている。
2. 仕事に関する困り事は、正社員以外は、休業補償に関する心配事が1位となった。

コロナ禍においては、シングルマザーも元々の雇用形態での差が出ている。

正社員のように、「収入に変化がない」人の場合は、子どもが自宅に居ることによる、食費や光熱費の負担が増えたことをあげた一方で、派遣や休職中だった人は収入が減る、または全くないことでの生活苦へと繋がる、収入そのものについての困り事をあげた。

学校が休校になっていることもあり、シングルマザーは、仕事が休め、尚且つ収入の継続が可能である環境を求めている。これに関しては、子どものいる親は同じように考えることも推察され、自宅に安心して居るには、仕事の継続と金銭的補償とのセットが基本であるとわかった。

【 今、困っていることは何ですか？（複数回答） 】



【 雇用形態により困り事の違いは？ 】

	1位	2位	3位	4位
正社員	食費がかかっている	光熱費がかかっている	仕事を休めない	教育費がかかっている
契約社員	食費がかかっている	光熱費がかかっている	仕事をやすめるが休業補償はない	教育費がかかっている もともと収入が少なく貯金できていないから収入がなくなるから困る
パート・アルバイト	食費がかかっている	もともと収入が少なく貯金できていないから収入がなくなるから困る	光熱費がかかっている	仕事をやすめるが休業補償はない
自営業	食費がかかっている	仕事をやすめるが休業補償はない	光熱費がかかっている	困っていることはない
無職（求職中含）	仕事が見つからない	食費がかかっている	来月から収入がなくなり、どうやって生活していくか	光熱費がかかっている

・派遣は、「もともと収入が少なく貯金できていないから収入がなくなるから困る」「食費がかかっている」「光熱費がかかっている」「困っていることはない」が同率であった。

【 雇用形態により仕事に関する困り事の違いは？ 】

	1位	2位	3位	
正社員	仕事休めない	休めるが休業補償なし	リモートワークだが仕事が捗らない	子どもを預けられないので仕事に行けない
契約社員	休めるが休業補償なし	仕事休めない	リモートワークだが仕事が捗らない	子どもを預けられないので仕事に行けない
パート・アルバイト	休めるが休業補償なし	仕事なくなった	仕事休めない	リモートワークだが仕事が捗らない
自営業	休めるが休業補償なし	仕事休めない	仕事なくなった	

Ⅲ. 現時点での不安なことと雇用形態の関係

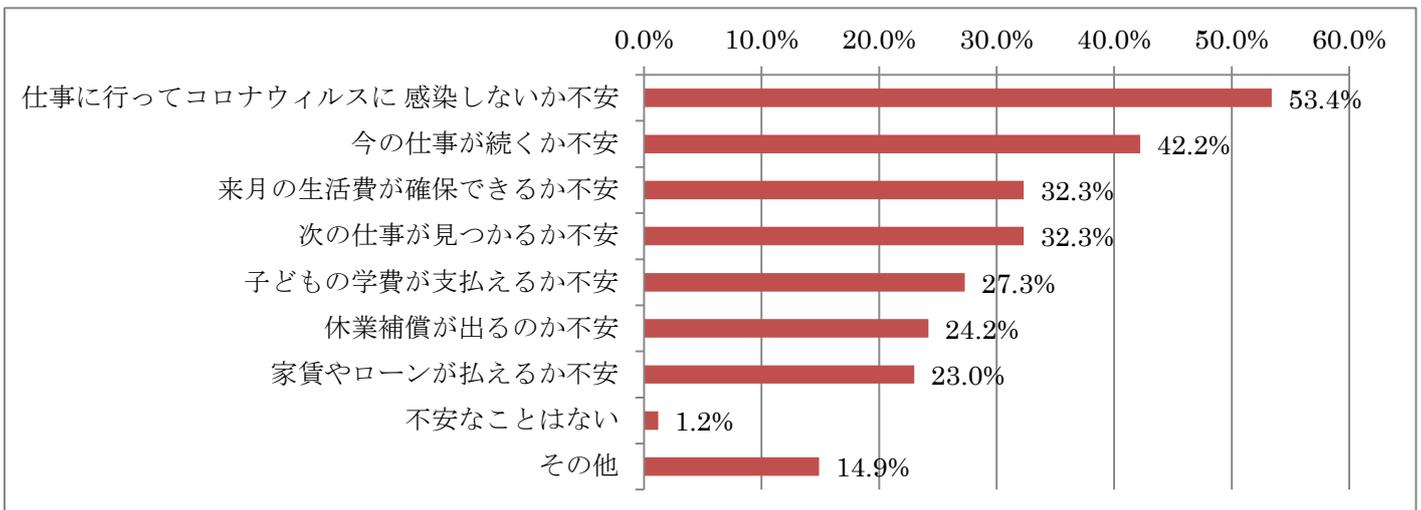
1. 仕事に行くことで、感染する危険性に対し、不安に感じているシングルマザーが多かった。
2. 年齢が若い人は、コロナウィルス感染についてよりも、金銭的な不安ごとのが上位を占めた。
3. 仕事が継続されるかという不安は年代に関わらず、2位となった。

30代以降は「仕事に行きコロナに感染しないか」が、最も不安なこととなった。

仕事に行かなければ収入は無くなるが、仕事に行けば自宅に居る子どもたちが心配であり、尚且つコロナウィルスへの感染も怖い。言い換えれば、出口のない不安と常に戦っている。

この不安によりメンタルが保てなくなる人が続出するのは容易に想像ができる。不安を煽るだけではなく、安心できる情報とのセットで発信してもらえれば、冷静に判断ができる人が増えたと推察される。

【 今、不安なことは何ですか？（複数回答） 】



《 その他の回答 》

- ・ 子供を預けないといけなないので(デイサービス)感染が不安
- ・ 転職先の仕事がいつから始まるか見通しが立たない。バイトも行けず収入が不安
- ・ 現在、在宅勤務ですが、コロナに感染しないか不安です。
- ・ 緊急貸付を利用するにも職業柄、受け付けてもらえるかわからない
- ・ 生活はなんとかやっつけているが、貯金が出るか不安
- ・ 自分自身が感染源になって周囲に影響を与えるのが怖い(会社閉鎖、集合住宅、地域への影響)
- ・ 会社が倒産しないか不安
- ・ 子供を通わせている幼稚園の保育士にコロナが出たので子供たちに移っていないか心配
- ・ 少し給料が上がっただけで、手当などがなくなってしまい、生活費や医療費など、きつい。
- ・ 思っている以上に、仕事場に来る事が仕事とされていて、緊急事態宣言の後も、対応が遅延している。
- ・ 試用期間で仕事を休ませて貰えないが、子供の学校は母親なら仕事を休むのが当然だと中小企業の現実を知らないで理想ばかりで困っている

- ・ 昨日、登園自粛の連絡が来たので、これから実際どんな問題が出てくるのか、いつまで続くのか。
- ・ 仕事が無いため僅かな貯金で生活をしているので貯金がついたら生活できない。引っ越しにもお金がかかる。
- ・ 両親の面倒を見ながら働けない
- ・ 新しい仕事先は決まっているが、落ち着くまで時短勤務。本来はフルタイムなので収入がどうしても下がる。5月半ばからのスタートだが本当にスタートできるか？
- ・ 通勤途中で感染しないか不安
- ・ 保育園が再開しないと仕事が見つかっても働けない
- ・ いつまで子供の学校が休みになるのか
- ・ 業績不振などでこれからの雇用契約がかわったら困る
- ・ 小学生になったばかりなので学校生活というものに馴染めるのかどうか不安
- ・ 一人で留守番をさせるため、心の傷が心配です。
- ・ 離婚調停に時間がかかりそうで不安
- ・ これからの仕事の選択や生活していくことへの不安

【 就業形態により不安なことの違いは？ 】

	1位	2位	3位	4位
正社員	仕事に行ってコロナに感染しないか	今の仕事が続くか	子どもの学費が払えるか	休業補償が出るのか 来月の生活費が確保できるか 家賃やローンが払えるか
契約社員	仕事に行ってコロナに感染しないか	今の仕事が続くか 子どもの学費が払えるか	来月の生活費が確保できるか	次の仕事が見つかるか 休業補償が出るのか
パート・アルバイト	仕事に行ってコロナに感染しないか	今の仕事が続くか	来月の生活費が確保できるか	休業補償が出るのか
派遣	仕事に行ってコロナに感染しないか	来月の生活費が確保できるか	今の仕事が続くか 家賃やローンが払えるか 子どもの学費が払えるか	次の仕事が見つかるか 休業補償が出るのか
自営業	今の仕事が続くか	仕事に行ってコロナに感染しないか	家賃やローンが払えるか	来月の生活費の確保が出来るか
無職 (求職中含)	次の仕事が見つかるか	仕事に行ってコロナに感染しないか 来月の生活費が確保できるか	家賃やローンが払えるか	子どもの学費が払えるか

【 年齢別により不安なことの違いは？ 】

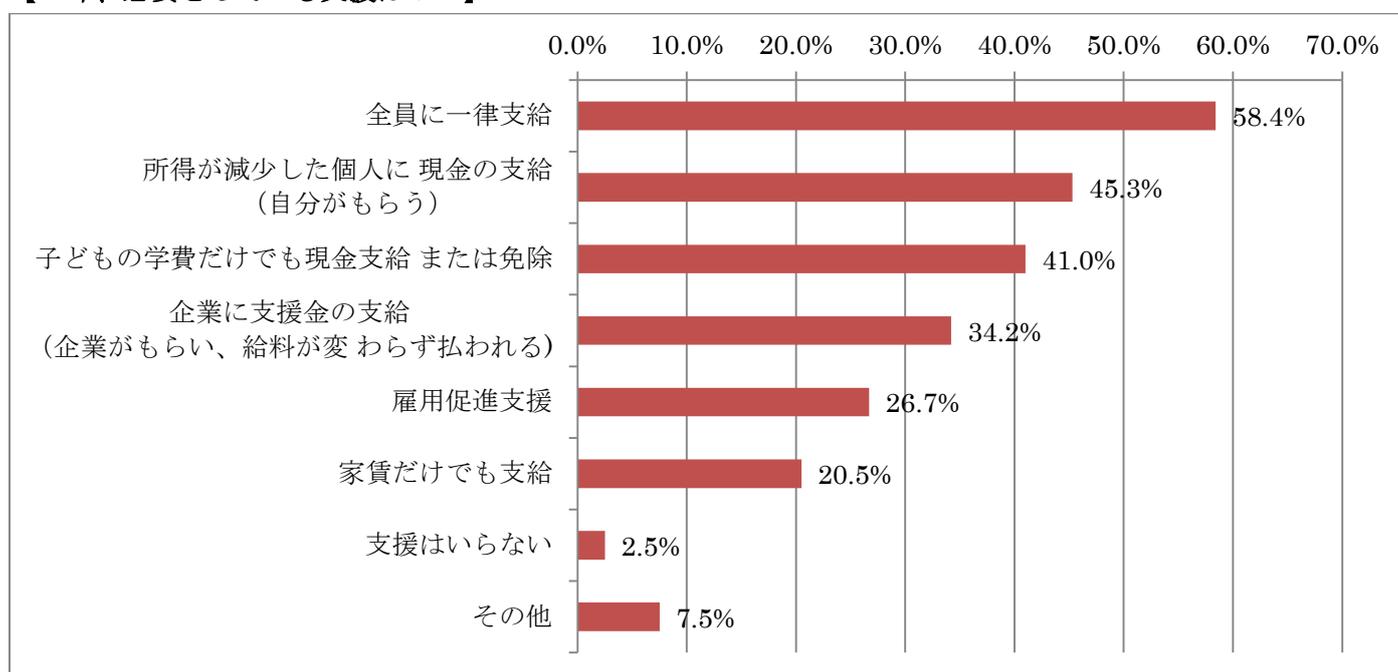
	1位	2位	3位	4位
25～29歳	来月の生活費が確保できるか	今の仕事が続くか 家賃やローンが払えるか	子どもの学費が払えるか 休業補償が出るのか	仕事に行ってコロナに感染しないか
30～34歳	仕事に行ってコロナに感染しないか	今の仕事が続くか 次の仕事が見つかるか	休業補償が出るのか	来月の生活費が確保できるか
35～39歳	仕事に行ってコロナに感染しないか	今の仕事が続くか	次の仕事が見つかるか 来月の生活費が確保できるか 休業補償が出るのか	子どもの学費が払えるか
40～44歳	仕事に行ってコロナに感染しないか	今の仕事が続くか	来月の生活費が確保できるか 子どもの学費が払えるか	次の仕事が見つかるか
45～49歳	仕事に行ってコロナに感染しないか	今の仕事が続くか	次の仕事が見つかるか	来月の生活費の確保が出来るか
50歳以上	仕事に行ってコロナに感染しないか	今の仕事が続くか 次の仕事が見つかるか 来月の生活費が確保できるか	子どもの学費が払えるか	休業補償が出るのか

IV. 現時点で必要としている支援と雇用形態の関係

1. パート・アルバイト、自営業が、最も経済的打撃を受けていることがわかった。
2. 個人に直接支援をして欲しいという人が多いことがわかった。

全体としては、全員に一律支給の支援を必要としているが、回答をまとめてみると、実際に求めていることは、企業への支給ではなく、個人に直接的な支援であることは明白となった。

【 今、必要としている支援は？ 】



《 その他の回答 》

- ・ 所得が減少しなかった人は年末調整で返金すればよい
- ・ 海外のように支援をオンラインで迅速にできるようにしてほしい
- ・ 減少はしていなくてもお金はいつもよりかかっているの、一人親や世帯収入低めの人には支援が欲しい
- ・ 自分がかかった時の子供の世話
- ・ 在宅ワークに必要な物と情報と技術の支援
- ・ 実家なし、賃貸にて障害児と母子生活。生活保護は受給していない。独身時代の貯金が尽きそう。DV 別居 2 年超、離婚裁判中。外での就職ではなく在宅で仕事をして自立したいので、そのための支援が欲しいです
- ・ もともと収入も少なくわからない
- ・ 安定した食糧やティッシュや生理用品などの生活必需品の確保
- ・ 市営県営住宅に入居させてほしい
- ・ シングルマザーに支援金
- ・ 医療関係者など優先してマスクの配布と手当加算
- ・ 子供のいる世帯は、収入保証のもと、保護者が家にいられるようにしてほしいです

【 就業形態により必要とする支援の違いは？ 】

	1位	2位	3位	4位
正社員	全員に一律支給	企業に支援金支給(企業が 貰い給与支払い)	子どもの学費現金支給ま たは免除	所得減少した個人に現金 支給
契約社員	全員に一律支給	所得減少した個人に現金 支給	子どもの学費現金支給ま たは免除	企業に支援金支給(企業が 貰い給与支払い)
パート・ アルバイト	所得減少した個人に現金 支給	全員に一律支給	企業に支援金支給(企業が 貰い給与支払い)	子どもの学費現金支給ま たは免除
自営業	所得減少した個人に現金 支給	全員に一律支給	子どもの学費現金支給ま たは免除	家賃だけでも支給
無職 (求職中含)	全員に一律支給	雇用促進支援	所得減少した個人に現金 支給	子どもの学費現金支給ま たは免除

【 年齢別により必要とする支援の違いは？ 】

	1位	2位	3位	4位
25～29歳	所得減少した個人に現金 支給	全員に一律支給 家賃だけでも支給	子どもの学費現金支給ま たは免除	企業に支援金支給(企業が 貰い給与支払い)
30～34歳	全員に一律支給	企業に支援金支給(企業が 貰い給与支払い)	所得減少した個人に現金 支給	子どもの学費現金支給ま たは免除
35～39歳	所得減少した個人に現金 支給	全員に一律支給	企業に支援金支給(企業が 貰い給与支払い)	子どもの学費現金支給ま たは免除
40～44歳	全員に一律支給	子どもの学費現金支給ま たは免除	所得減少した個人に現金 支給	雇用促進支援
45～49歳	全員に一律支給	子どもの学費現金支給ま たは免除	所得減少した個人に現金 支給	企業に支援金支給(企業が 貰い給与支払い)
50歳以上	全員に一律支給	所得減少した個人に現金 支給	企業に支援金支給(企業が 貰い給与支払い)	子どもの学費現金支給ま たは免除

V. コロナ騒動収束後のシングルマザーが考える展望とは

1. コロナ騒動が収束したら、貯金をすると回答した人が多かった。
2. 選挙に関心を示す人も多く、支援に関わる政治に興味をもった人が多かった。
3. 25～29歳、50歳以上は婚活することを選択する人はいなかった。

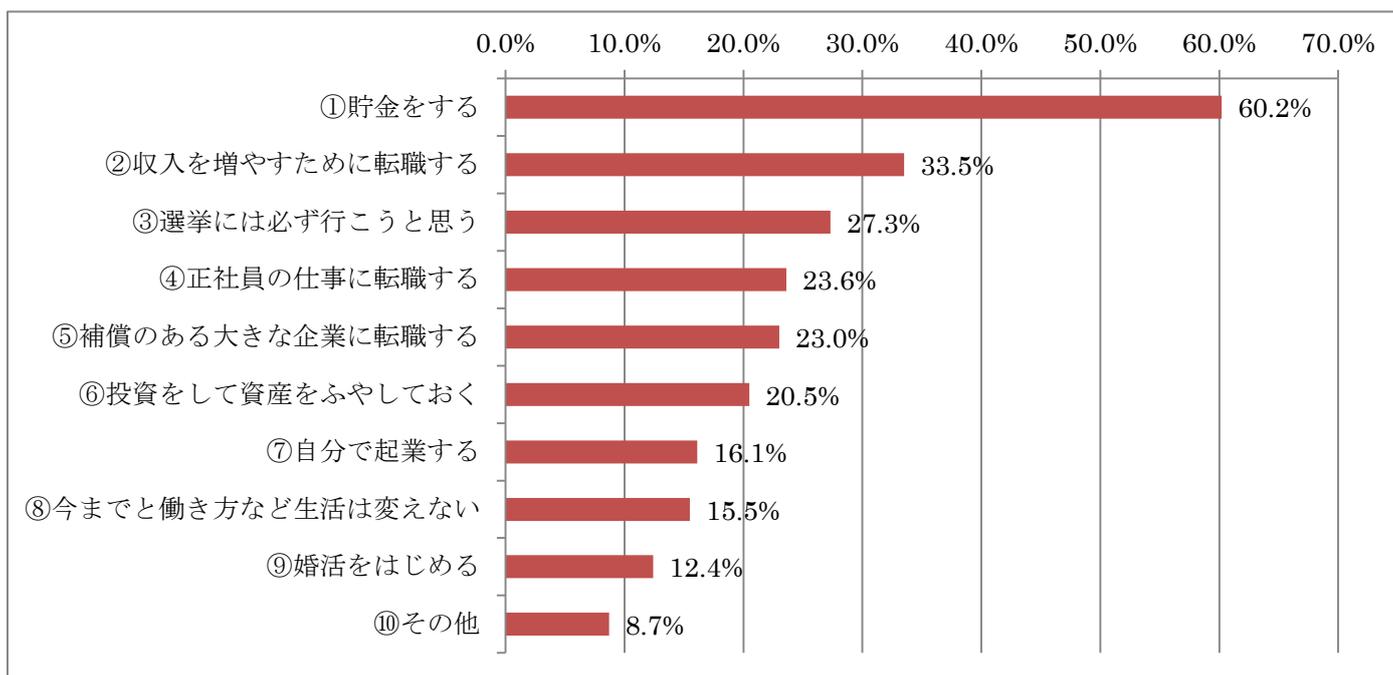
本調査でも、貯金をする、収入を増やすために転職するが上位にきていることから、今回のコロナ禍により、お金の大事さを実感した方が多いと感じた。

現状がどうであれ、貯蓄などがあり経済的な不安が少なければ、このような有事に耐えることが十分に可能となる。そのためには、平時の収入を増やすこと、安定した収入を得る環境にいることの必要性があると考えられた。

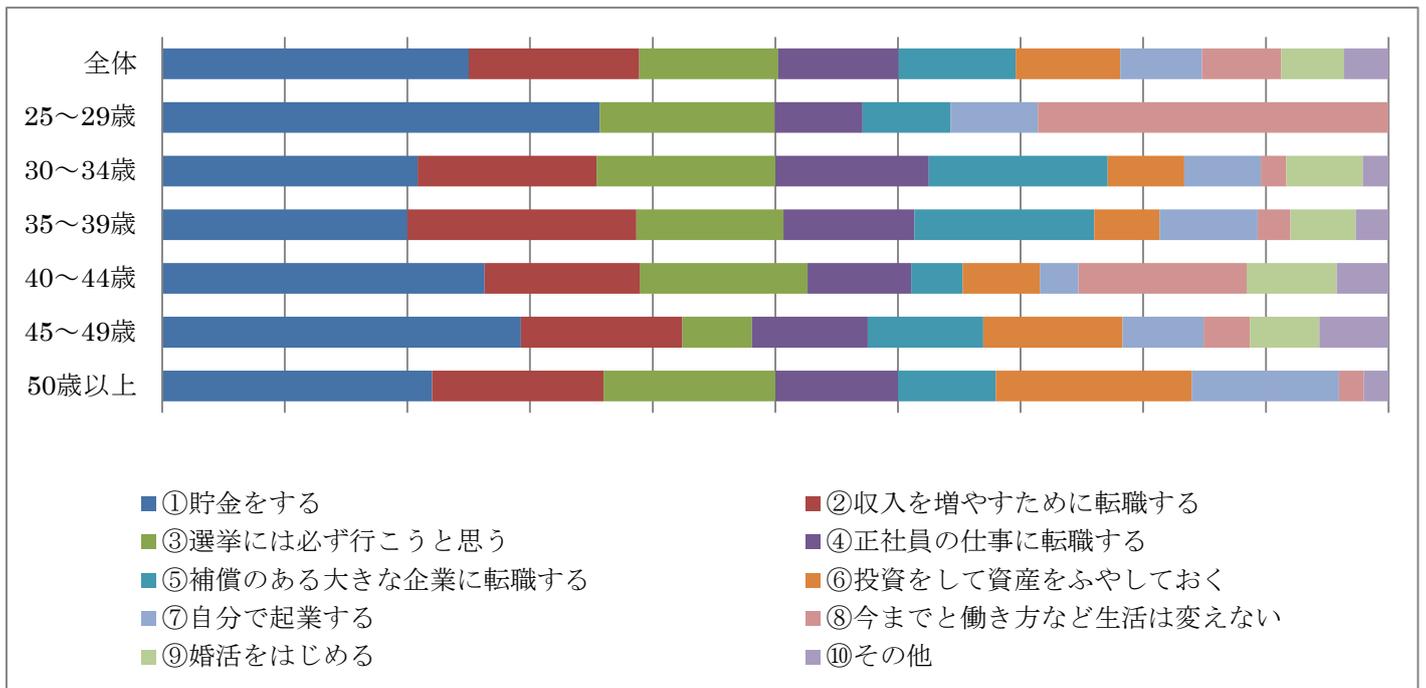
シングルマザーの平均年収は約200万と言われている。その所得金額に不安を感じていた人も多いが、どうにか暮らせるのでそのままにしている人が多いのも現実であった。

今回のコロナ禍により、自ら動き出さなければいけないと感じた人も多く、女性の自立が進むきっかけになったと言える。

【 コロナ騒動が収束後、どうしていきたいですか？ 】



【 コロナ終息後、どうしていきたいですか？（年齢別での比較） 】



《 その他の回答 》

- ・ 副業をする 5人
- ・ 資格取得など勉強をする 3名
- ・ 子供が巣立ったあとのことも考えていく
- ・ テレワークが推進されて働きやすい社会になっていればいい
- ・ 会社や仕事を休まない他の人に恩返しをしていきたい
- ・ 在宅勤務可能なところに就職したい
- ・ 地方に引っ越したい